

新たな学校への歴史の継承方法について

2022年5月23日（月）に開催した第4回鶴川西地区基本計画検討会では、新しい学校へ継承する可能性のある活動や物品などについて、ワークショップ形式で確認をいただきましたので、そのまとめと、他市における継承方法の具体的な事例について情報提供いたします。

今回の検討会では、前回確認を行った内容や他地区における継承内容等を踏まえながら、あらためて各々の活動や物品への想いと新しい学校への継承方法について、ワークショップ形式でご意見をいただきたいと思いますと考えています。

1 第4回検討会におけるワークショップや意見募集の内容のまとめについて

資料4-2参照

2 他市事例について

他市における統合校等における物品の継承・保存方法等の事例を情報提供します。

項番	物品項目	継承方法	備考
1	卒業制作・校名板・校旗・校章・記念冊子	デジタル保存 ※写真・映像など	現物の保存または引き取り方法の検討
		卒業生へ返却	<ul style="list-style-type: none"> ・ 損壊のおそれ ・ 個人がわかるものは申し出による返却 ・ 個人ごとに分けることが難しい場合は卒業生で検討し、代表者に返却
		新校舎へ移設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 損壊のおそれ ・ 保存場所の検討
2	記念碑	デジタル保存 ※写真・映像など	現物の保存または引き取り方法の検討
		新校舎へ移設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 損壊のおそれ ・ 保存場所の検討
3	記念樹	デジタル保存 ※写真・映像など	現物の保存または引き取り方法の検討
		新校舎へ移設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 損壊や枯れのおそれ ・ 保存場所の検討
		家具などに加工して新校舎に設置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保存場所の検討 ・ 作成物及び費用の検討、決定 ・ 作成者の検討、決定
4	展示物 (農具、土器など)	デジタル保存 ※写真・映像など	現物の保存または引き取り方法の検討
		新校舎へ移設	保存場所の検討
5	教育活動・学校行事 (縦割り活動など)	学校同士で検討。各活動の小さな違いはすり合わせながら新しい学校で実施	
6	学校を利用した地域活動・地域行事	地域ごとに継続場所・方法を検討	

3 本日のワークショップについて

これからつくる鶴川西地区の新しい学校においても、各校の教育活動などに関わっていただいている方々や地域の方々に愛着をもっていただき、引続き、鶴川西地区の子どもたちの教育活動にご協力いただけるよう、各校の歴史や想いを継承していきたいと考えています。

本日のワークショップでは、前回のワークショップ、他市の事例や以下の4つの視点などを踏まえ、各校の物品や活動への「想い」と「継承・保存・引き取り・廃棄方法」について、資料4-2の表を用いて、ご意見をいただければと思います。

(1) 教育活動への利用の視点

子どもの教育のために利用できる物品かどうかを検討します。

(2) 施設的な面積の視点

学校施設（校庭や校舎など）の面積などから、教育活動に支障をきたさないかどうかを検討します。

(3) 代替の可能性の視点

他施設等での代替措置が可能かどうかを検討します。

(4) 費用面の視点

継承の際に必要なとなる移設費用等の面から検討します。

4 継承内容を決定するスケジュール

■鶴川西地区 統合新設校 歴史の継承内容検討スケジュール

